

経営比較分析表（令和4年度決算）

熊本県 大津町

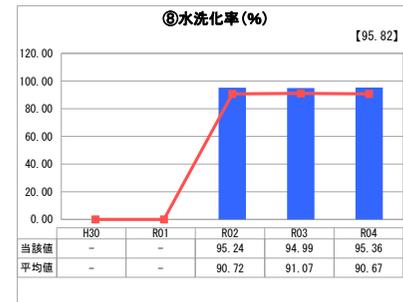
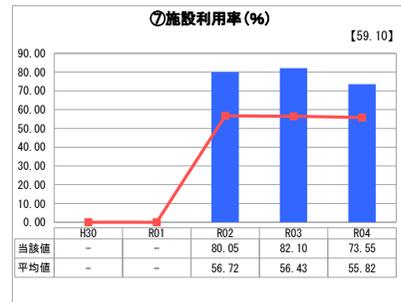
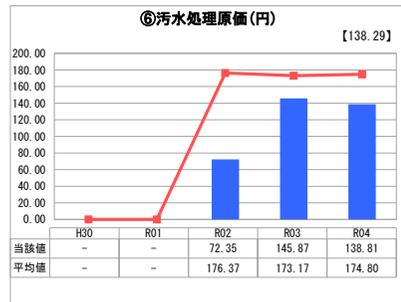
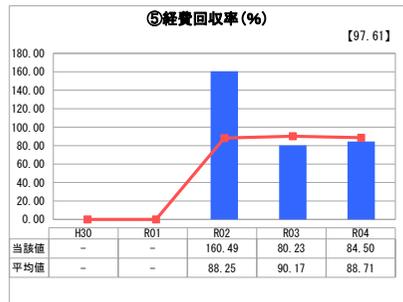
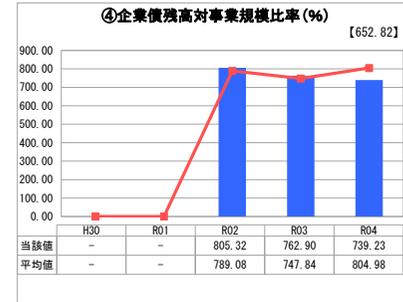
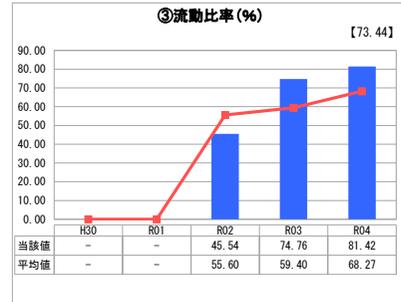
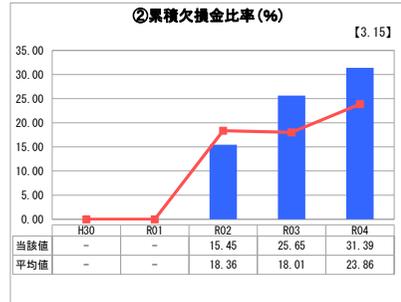
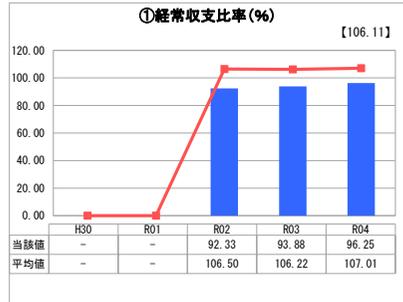
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	69.55	77.65	100.00	2,200

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,030	99.10	363.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
27,833	7.28	3,823.21

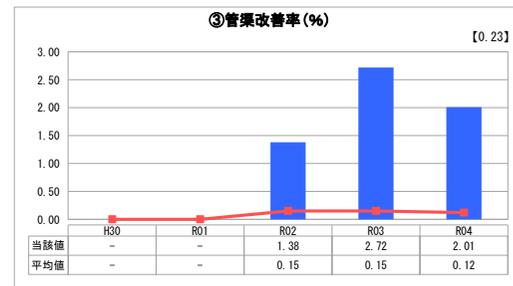
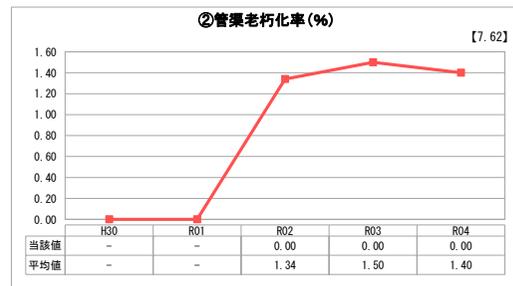
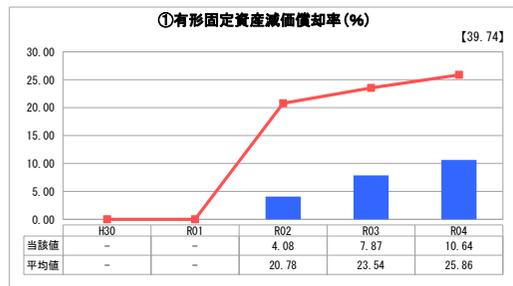
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、② 累積欠損金比率、⑤ 経費回収率
 経常収支比率は類似と比較して低く96.2%であり、経費回収率も84.5%と賸っていない。令和5年12月の議会定例会において、下水道使用料値上げ(15%)を令和6年4月使用分から行うこととしており、今後の経営改善が見込まれる。
 ③ 流動比率
 短期的な債務に対する支払能力が類似より13ポイント程度高い状況。100%を下回っている要因は償還金であり、翌年度には一般会計出資金で補填している。
 ④ 企業債残高対事業規模比率
 類似比較で66ポイント程度低い状況であり、今後も注視していく。
 ⑥ 汚水処理原価
 類似団体との比較では36円程度低くなっているが、継続して経費削減や接続率の向上に努める。
 ⑦ 施設利用率
 今後、処理水量の増加を見込んでおり、令和4年度に3系統目の増設が終わり、5年度から4系統の増設増強工事の基本設計の実施中である。
 ⑧ 水洗化率
 水洗化率は0.4ポイントの増加になっている。公共水域の水質保全に向けて、引き続き未接続世帯への戸別訪問等により水洗化率向上に努める。

2. 老朽化の状況について

定期的に点検調査を行い、令和元年度に策定したストックマネジメント計画による、緊急性等の優先順位に基づき効率的な老朽化対策を行い、安心・安全の確保に努める。

全体総括

維持管理と改築更新、経営の効率化と健全化を図るため、令和2年度から公営企業会計に移行し、経営状況の明確化が図られている。今後は、更なる経費削減及び更新投資等に充てる財源確保に資するため、引き続き包括的民間委託を継続し、戸別訪問による水洗化率の向上に努める。
 また、令和6年4月使用分から平均15%の料金値上げを実施するが、令和6年度中に見直すこととしている「下水道事業経営戦略」において、今後10年間の収支計画を見直し、適正な料金体系を構築し、効率的で健全な経営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。